

可児いとう

Presented by Kani Itoh

上司

の

アソコ

は

XL

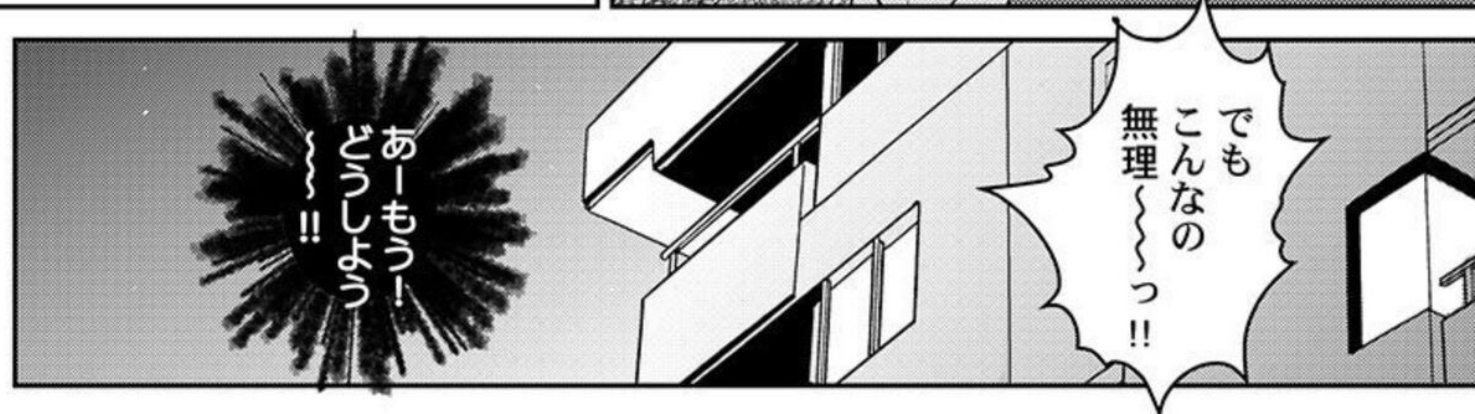
サイズ!?

1

太い先っぽ...
入ってる...

上司のアソコは
XLサイズ!?
～太い先っぽ…
入ってる…!

第 1 話











須藤さんの顔…
赤い気が
するけど

酔ってるせい…

だよな？

おい

渡瀬

家
ここで
あつてるのか？

しっかりしろ

うん…

もう飲め
ない！

ふわふわして
気持ち良い…

いいにおい…

香水かな

まったく
あれだけに
言ったのに

オイ

渡瀬
なんだこれは

このまま
ベッドで
寝ちゃいたい



というワケ
なんです

はあ……
そういう
ことか

説明したら
わかって
もらえたけど
……

なんで
正座……

ちょこん

本当に
オトコは
いないって
ことだな

えっ？

じゃなくなてな

会社員たるもの
普段の業務に
全力であるべきで

余暇を利用して
アルバイトする
くらいなら——

また
始まった……

適当に嘘の
レビューで
誤魔化そうと
しないところは
誉めてやる

まあ





減多にいない
XLサイズなら
ココにある

え…っ

まだ勃って
ないけどな

す…っ

何言って
るんですかつ

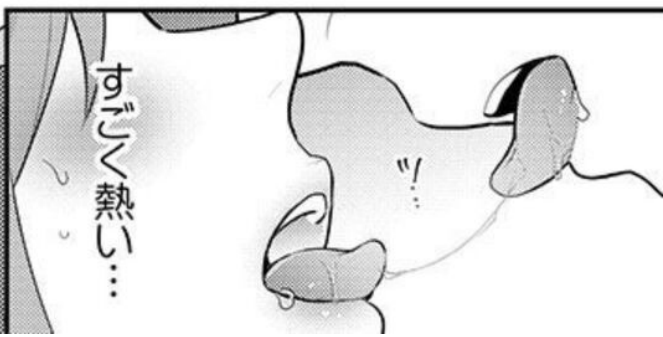
須藤さんが
XL…?!

これなら
文句ないだろ？

これでまだ
大きくなる
前…？

じゃあ…
おっきく
なったら
どうなるの
……？

……っ





薄さ以外に
変わり種も
あるな…

今まで
XLは種類が
少なかったが

A社はそこに
切り込んで
シェアを広める
つもりだな

さっき…

いっぢゃい
そうだった…

渡瀬

須藤さんと
こんな…

イチゴ味
好きだったな？

えっ

これをつけて
フェ〇チオ
すれば
イチゴ味が
味わるって
わけだ

なんで
知って
……

味付き

?!

フェ…

ええええっ

お前には
まだ早い

指につけたのを
舐めてみる

はい

わっ

私が…?!

これなら
レビユー
できるだろ

そんなの…

い

回の中
こんな風に
されるの…

変な感じが
して…

入ってきた…っ

イチゴの味
するけど…っ

た…確かに



私…

そんな顔
してた…?

んん

じゃあ
付け心地を
教えてやるから

これにするか

ドキ
ドキ
ドキ

見る
0.03
ミリだ

ドキ
フラ
ン

XLとはいえ
少しきついな

……っ

ぎゅ

ギョ
ン

もっと
伸縮性が
ほしい

つけやすさは
悪くないが

おいッ……

おハニ









受け入れてく
れるように
ならないと
俺も辛いんだぞ

え…？

そんなこと
……っ

言われても
困……

ほら
先が入ったぞ

嘘…っ

先っぽだけで
これだなんて
！

入ってる
……っ

掻き分けて
（あっ）

上司のアソコは
XLサイズ!?
～太い先っぽ…
入ってる…!(1)

著者 可児いとう
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

可児いとう

Presented by Kani Itoh

上司

の

アソコ

は

XL

サイズ!?

2

太い先っぽ...
入ってる...

上司のアソコは
XLサイズ!?
～太い先っぽ…
入ってる…!

第 2 話

刺激が
強すぎて
……っ

コラッ
そんなに
締めると
抜け……っ

11/11/12

211

つ

おい

イっ…
ちやつたあ

大丈夫か？

はち

•
•
•
•
•
•

そんな
ヘロヘロじゃ
この先は
無理そうだな

今日は
もう帰る





では
プレゼン会議を
開始します

今は仕事
しごと！

既存の利用者
だけでなく
幅広い顧客を
開拓するため

様々な
観点からの
ツールを
利用して

新規層への
積極的な
モニター活動を
行うべきだと

現在プランを
練っております

でもそれって
コスト以上の
効果があるかなあ

『女の子』の
考えることって
お金がかかる
からなあ

えっ

なによこの人…
そんな言い方
しなくても…

ええと…
たとえコストが
かかってても…

それ
以上の

だめだめ！
顔にだしちゃ…

若い女の子が
説明すると
オジサン達
信じちゃう
からね

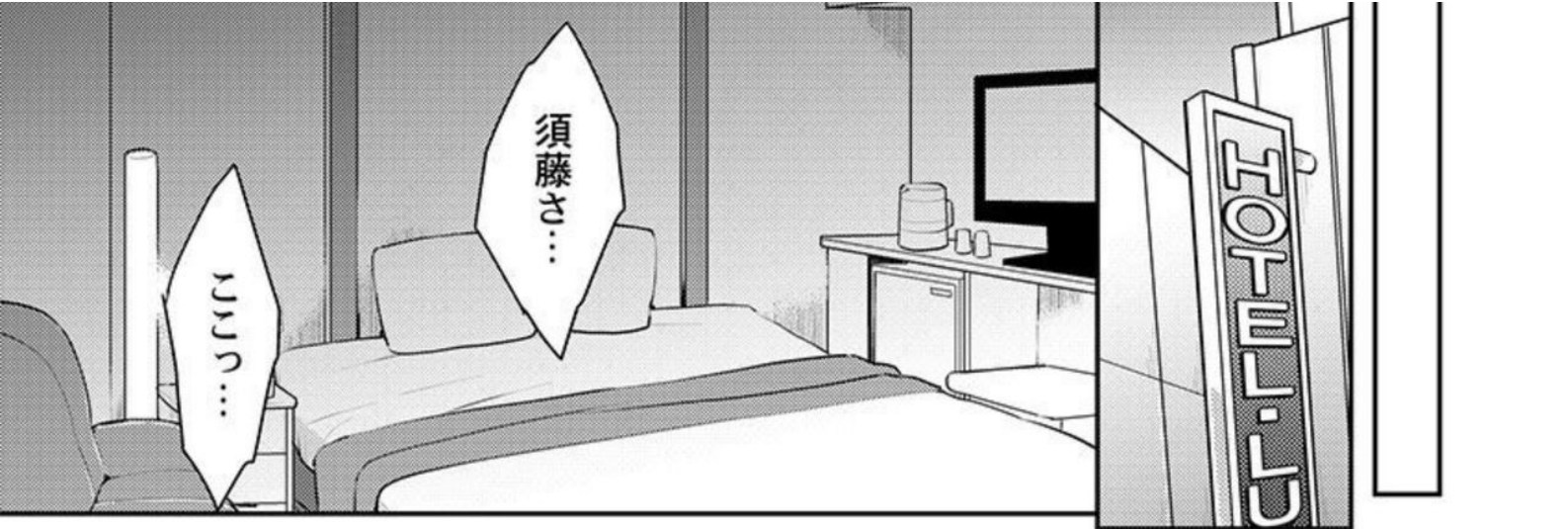












なんで
そこまで…っ

それは…っ

…？

……さっき
お前もプレゼンで
言ってただろ

新規層への
積極的なモニター
活動は重要なんだ

でも…
そんなの…っ

この前は
ココでいったが

…！

フーッ

や…
ちよっ…

かお、

俺にとって
XLのゴムは
貴重だから
貢献したいんだよ

お前だって
報酬の10万
欲しいんだろ？

コツチの
奥の方が
もっとヨくなる

め、

うん、

うん、







せっかくだし
このローション
付きタイプの
ゴムにするか

ゴムのせいで
すごい
テカテカ
してるし…っ

こんな
おっきいの
……
ビキ

そんなに
見るなよ

相変わらず
大きい…っ

じゃなくて
……っ

こっちに
来い

きゃ…

え……っ

やっぱり
怖い…っ

……











なんでっ…

お前がバカなこと
言ってるから悪い

何言ってる…

駄目だ
我慢
できない

ええっ

挿って
きちやう…っ

あ…!

あ

あ

このままじゃ
最後まで
きちやう…っ

やあ

ナカ…

擦れて…っ

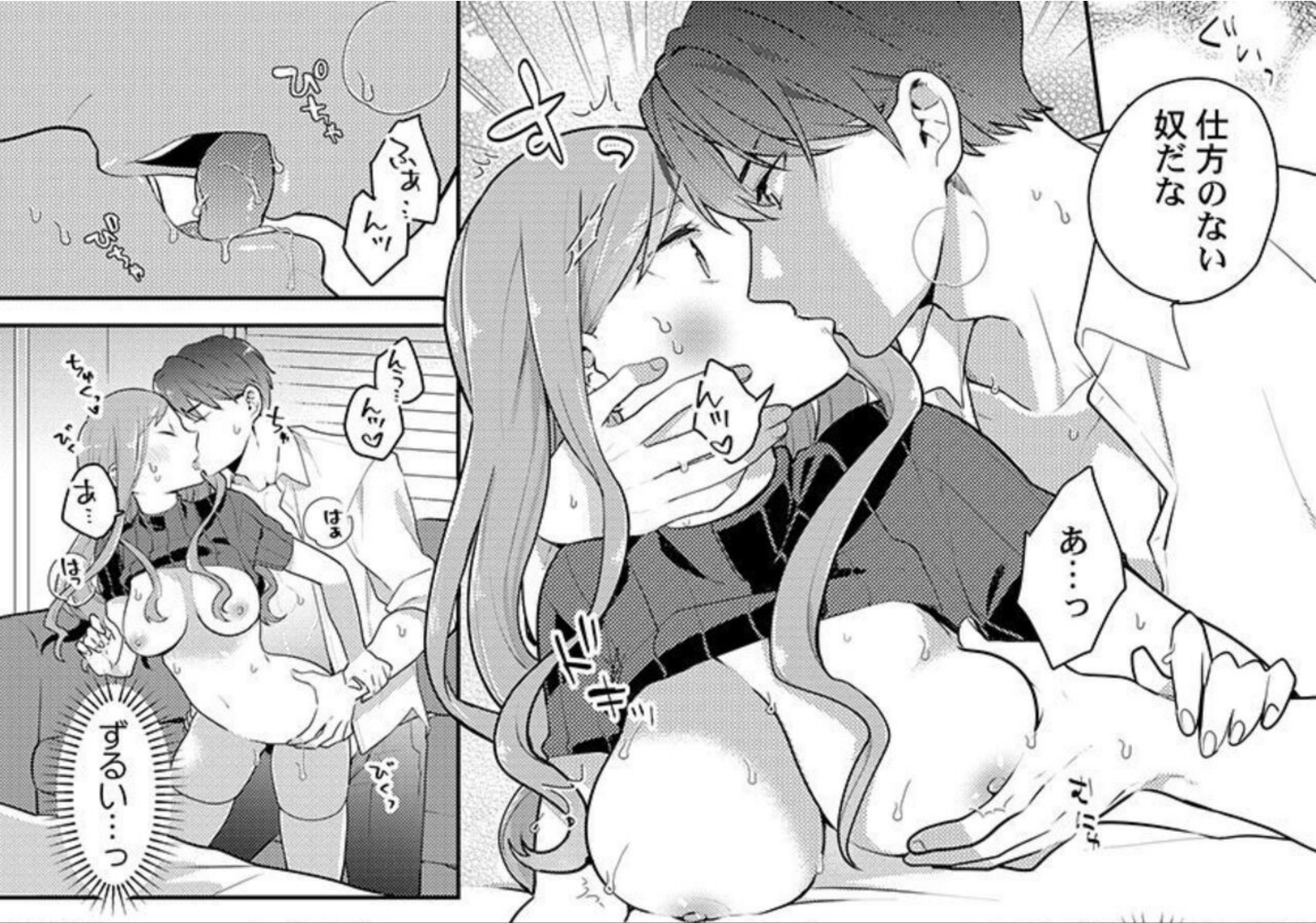
半分
くらいまで
きこる…っ

ミッ!
離して
ください…っ

コラッ

暴れるな…ッ

ヤッー!



上司のアソコは
XLサイズ!?
～太い先っぽ…
入ってる…!(2)

著者 可児いとう
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。